

2014年7月2日
東日本旅客鉄道株式会社

東京駅丸の内地下エリア整備について

JR東日本では、「東京駅が街になる」という「Tokyo Station City」のコンセプトのもと、東京駅周辺の都市空間整備を進めています。

東京駅丸の内地下エリアは、周辺再開発の進展に伴い、歩行者のご利用が多く、地上の丸の内駅舎・駅前広場と並んで地下での拠点となるエリアです。今回、丸の内駅前広場の地下の一部新規掘削(約 4,500 m²)と合わせ、既存の改札内・外コンコースも含めた全面的な再配置を行うことにより、東京駅丸の内地下エリアの顔づくり、歩行者ネットワークの強化、駅サービス機能の向上、店舗開発や情報発信機能の拡充を図る整備計画がまとまりましたので、お知らせします。

1 東京駅丸の内地下エリアの顔づくり

改札内・外コンコース内装を一新し、格調高く賑わいのある空間を創出します。

なお、周辺地下エリア(丸の内ビル前、新丸の内ビル前、JPタワー前等)と統一感のある整備を目指します。地下南口付近の歩行者動線の結節点に、動輪モニュメントを地下北口から移設するなど、新たな東京駅地下の待合せ広場「地下南口待合広場(仮称)」(約 3,500 m²)を整備します。

「地下南口待合広場(仮称)」の一部については、全体に先行して2014年末に使用開始します。
全体完成時期:2017年夏(予定)

2 歩行者ネットワークの強化

地下中央口と東京メトロ丸の内線東京駅とを連絡するコンコースの幅員を約7mから約14mに拡幅します。地下南口、地下北口の改札位置を見直し、お客さま動線を分かりやすくします。地上駅前広場、周辺地下空間との連続性を考慮した、分かりやすい案内サインを整備します。

3 駅サービス機能の向上

今まで分散していたコインロッカーを北口改札付近に集約し、お客さまの利便性を向上させます。改札内トイレの位置を変更し、美化すると共に、地下北口改札外にも新たにトイレを設置します。

4 賑わいのある魅力的な地下空間づくり

既存店舗を一新して、魅力的な店舗を設置することで、お客さまのニーズに応えていきます。

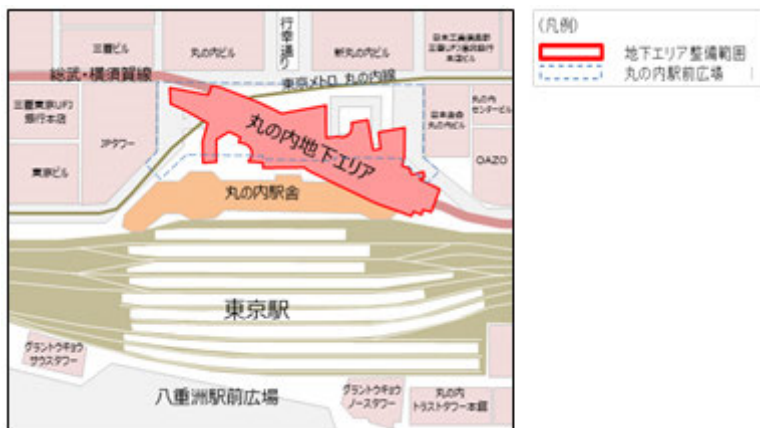
デジタルサイネージ等の情報発信媒体を整備・拡充し、地域情報、観光情報等を発信します。

「地下南口待合広場(仮称)」に賑わい・魅力を創出する為のイベントスペースを設け、様々なイベント等を開催します。

全体概要

・所在地:	東京都千代田区丸の内1-9-1 JR東京駅地下1階改札内外
・開発面積:	約 19,000 m ² (コンコース、駅業務施設等を含む)
・店舗面積:	約 4,100 m ²
・店舗業種:	雑貨、食物販等
・店舗開発運営:	(株)鉄道会館

[位置図]



[東京駅丸の内地下エリア整備計画図]



[動輪モニュメント移設後のイメージパース: 地下南口待合広場(仮称)]



本資料にあるパース・図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。